

職場の「熱中症」を防ごう！

～本格的な夏を迎える前から、計画的に熱中症の予防対策に取り組みましょう～

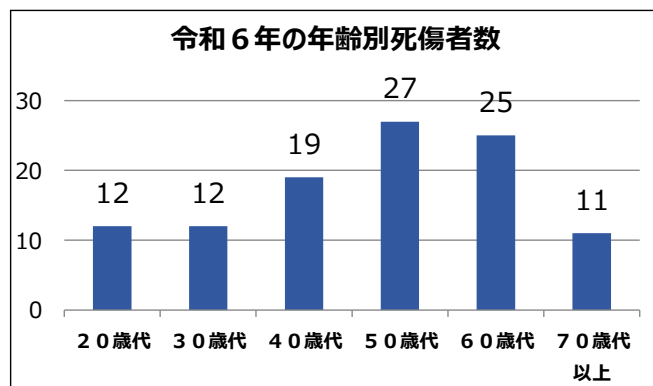
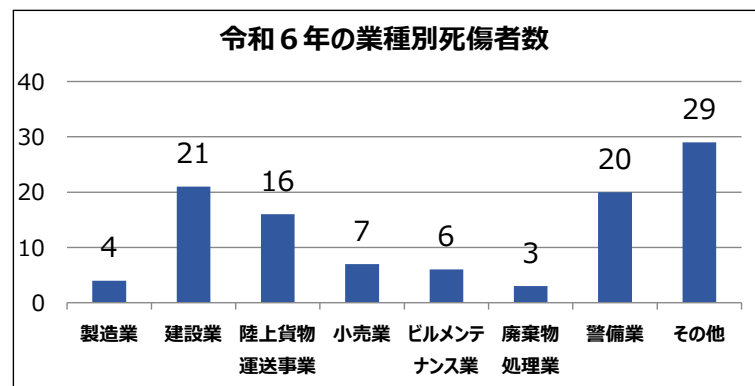
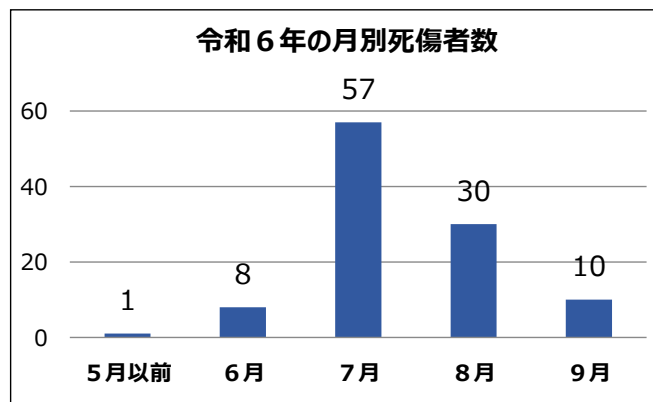
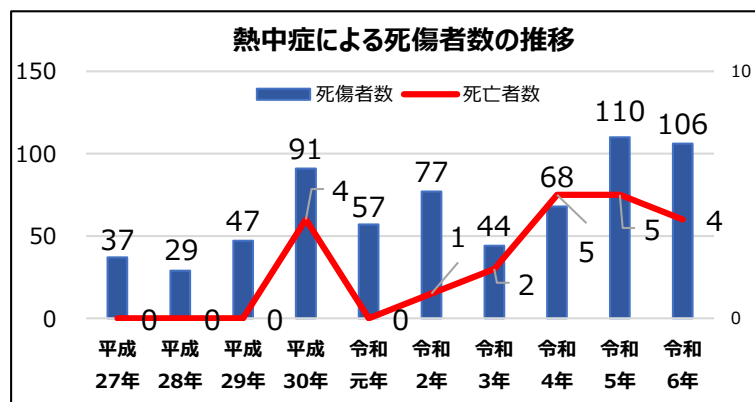
令和6年の東京労働局管内の熱中症による休業4日以上労働災害は106件発生し、うち4件（4件のうち、建設業が3件、廃棄物処理業が1件）が死亡災害となっています（数値は令和7年1月末日現在）。

業種別では、建設業が20%、警備業が19%、陸上貨物運送業が15%を占め、小売業、ビルメンテナンス業など幅広い業種で発生しています。

月別では、全体の約8割が7月から8月にかけて発生しており、特に梅雨明け直後に多く発生しています。また、月別の平均最高気温（気象庁の気象データ（地点：東京）より）が高い8月以前に熱中症発生のピークがきています。

年齢別では、50歳代が最も多く、次いで60歳代で多く発生しています。

熱中症に対しては、正しい知識と適切な予防対策や応急処置が必要です。**本格的な夏を迎える前から、計画的に熱中症の予防対策に取り組みましょう。**



令和6年に発生した熱中症の発生事例（東京）

発生月時間	業種	発生状況	経験年齢	休業見込日数等
7月15時	建設業	屋外の工場現場において、鉄筋の圧接作業に従事していたところ、歩行が困難となったため、救急車で病院に搬送されたが、搬送先の病院で死亡したもの。	50歳代 10年以上20年未満	死亡
7月15時	廃棄物処理業	事業場の倉庫内において、ペットボトルの選別作業を行っていたところ、前のめりになって動かなくなったため、救急車で病院に搬送されたが、搬送先の病院で死亡したもの。	40歳代 1年未満	死亡
7月12時	警備業	工事現場において、交通誘導の業務を行っていたところ、立っていられないなどの症状となり、救急搬送されたもの。	70歳代 10年以上20年未満	60日
9月19時	陸上貨物運送業	引越作業のため、段ボールなどの荷物を運んでいたところ、吐き気、頭痛などの症状となり、救急搬送されたもの。	50歳代 10年以上20年未満	15日
7月13時	小売業	厨房内で食器の洗浄作業を行っていたところ、膝から崩れるように倒れてしまい、救急搬送されたもの。	50歳代 1年以上5年未満	20日



主な熱中症予防対策

STOP! 熱中症クールワークキャンペーン

厚生労働省では、熱中症予防対策の徹底を図ることを目的として、関係団体等との連携の下、「STOP! 熱中症クールワークキャンペーン」を実施

準備期間	キャンペーン期間				
4月	5月	6月	7月	8月	9月
重点期間					



熱中症
キャンペーン



熱中症
予防情報

暑さ指数 (WBGT 値)※1 の活用

- 暑さ指数の実測※2
- 実測値に対し、衣類の種類による補正
- 作業内容と比較し、熱中症リスクを確認
- リスクに応じた対策を検討、実行



暑さ指数の
実況と予測



暑さ指数の
計算方法

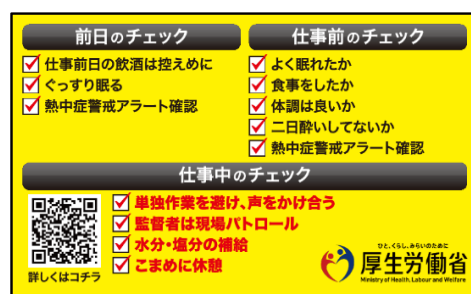
※1 暑さ指数とは、気温に加え、湿度、風速、輻射（放射）熱を考慮した暑熱環境によるストレスの評価を行う暑さの指数

※2 実測できない場合は、その地域を代表する一般的な暑さ指数（環境省熱中症予防サイト（二次元コード「暑さ指数の実況と予測」参照）＋補正手段により、参考値を算出してください。

「ロゴマークシール」と「応急手当カード」の活用

「Cool work TOKYO」ロゴマークシールと応急手当カードを各労働基準監督署の窓口等で配布しています。

ロゴマークシール



エイジフレンドリー補助金の活用（中小企業事業者に限る）

高年齢労働者を雇用し、対象の高年齢労働者が補助対象の業務に就いている場合は、労働災害防止に要する経費を補助する制度があります。
（詳細はリーフレット等をご確認ください。）

「東京労働局公式X」及び「公式YouTubeチャンネル」

熱中症予防対策を含む各種情報を発信していますので、ご覧ください。



東京労働局公式



東京労働局
公式YouTube

以上のことで不明なことがありましたら、東京労働局労働基準部健康課・各労働基準監督署までお問合せください。